



第 81 号

平成 22 年 11 月 25 日
発行
本荘由利森林組合
由利本荘市水林 381
TEL 0184 24 4141(代)
FAX 0184 24 4143

木材流通センター 由利本荘市西目町沼田字新道下 1019 1 製材工場『木香里』 由利本荘市西目町沼田字新道下 1020 1
TEL0184 32 1088 FAX0184 32 1089 TEL0184 32 1080 FAX0184 32 1081

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~honmori/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp



第 5 回森林組合まつり (平成 22 年 10 月 17 日開催)

森林組合まつり

平成二十二年十月十七日(日)西
目製材工場を会場に第五回森林組合
まつりを開催しました。

小松組合長の開会のあいさつに続
き、由利本荘市藤原副市長、にかほ
市須田副市長にご臨席を賜り、来賓
を代表して藤原副市長からあいさつ
を頂いての開会となりました。

開会と同時に配布したブルーペリ
ー苗木引換券は、大勢の人が一斉に
詰めかけ、用意された三百枚の引換
券は数分でなくなりました。先着に
漏れた人たちは、残念がる声があ
がっていました。

会場には工場で加工された製材が
展示され、冬囲いなどに使う材料を
求めて品定めをする人たちがありま
した。また、まつりの為に製作され
た丸太イスやテーブルが並べられ、
木材製品の感触や座り心地を確かめ
ながら休憩する姿がありました。

手鋸やレインコートなどの購買品
売場には、特別価格となるこの機会
を求めて多くの人が集まりました。
苗木売場では、鉢植えが可能なポツ
ト苗木や庭木、また鳥海リンドウな
ど多種の苗木が用意されました。



食品販売ではきのこや山菜や試食
可能なリンゴなどが彩り良く並び、
食品を買い求める人々が賑わいを見
せていました。

GIS・GPSコーナーには、森
林の所有状態や所在地の質問や検索
に来る人の足が絶えず、森林への関
心が高まっていると感じられました。
三浦指導員による林業相談には、
この機会に熱心に相談する人々の姿
がありました。

来場者の参加による丸太切り競争
丸太積み競争には積極的な参加を頂
き白熱した競技となりました。丸太
積み競争には多くの子供たちが参加
して、一位の人には司会者がインタ
ビューがする場面があり、その回答
に会場が盛り上がりました。

林業機械実演では、高所作業車が
用意され、地上十数メートルの高さ
まで上がるゴンドラに乗り込んだ人
たちは、普段見ることでできない景
色を見渡したり、下で待つ家族に手
を振ったり興奮した人の姿が見られ
ました。

由利森林管理署の木工品展示即売
所では大木から作られた見事な木工
品が一面に並びました。

終盤に行われた大抽選会では、小
松組合長の引いた番号が読み上げら
れる毎に、埋め尽くした人々から、
喜びや落胆する声が聞こえ、最後ま
で大盛り上がりの中、地デジ対応テ
レビなど三十個の賞品すべてが当選
者へ手渡されました。

今年も多くの市民のみなさまにご
来場頂き、会場も終止活気の満ちた
一日となりました。組合まつりの目
的のひとつである森林組合の存在と
業務内容を広めるとい意味で多く
の人にアピールできました。行政や
様々な観点から、森林のあり方が再
注目され始めています。職員一同、
これからも森林・林業の活性化や森
林の保全・保護の為に努力してい
ります。



森林組合アンケート

訪れて頂いた方々にアンケートの
回答にご協力頂きました。集計結果
の一部を紹介致します。

Q一、所有山林の場所や境界がわか
るかどうか。

わかる…………… 五四・八％
わかる人がいる…………… 一六・〇％
わからない…………… 二九・三％

Q二、誰が森林を管理しているか。

自分自身…………… 四三・〇％
家族…………… 二三・八％
組合や業者…………… 一六・三％
管理していない…………… 一六・九％

Q三、所有する山林を今後どうして
いきたいか。

所有していきたい…………… 六三・八％
希望があれば貸出したい…………… 四・〇％
できれば手放したい…………… 八・六％
わからない…………… 二三・六％

Q四、山林へどんな関心があるか

環境問題…………… 五四・八％
木材自給率…………… 二〇・八％
山林経営…………… 九・二％
燃料源…………… 一〇・一％
興味なし…………… 四・三％
その他…………… 〇・四％

回答者の七割は、六〇代以上でし
た。Q一、Q二からは森林の所在地
を知る管理者が、高齢化している傾
向があるようです。また、管理が手
つかずであったり、今後の扱いを迷
っている人も多いようです。

Q四からは、山林所有の有無に関
わらず、人々の関心がどこへ向かっ
ているかが伺える結果がありました。

第7回 東証上場の森 記念植樹祭

十月一日（金）花立牧場公園地内「東証上場の森」（矢島）にて東京証券取引所グループ主催の記念植樹祭が行われました。

組合で用意したベニヤマザクラ九十三本、シラカバ二十四本の、計百十七本の苗木を、浦西友義常務執行役、長谷部由利本荘市長のほか、多数の関係者で植樹しました。スコップでの穴掘り、木杭の打ち込みなど、苗木の植樹作業を、青空の下、参加者一同は汗を流しながら熱心に行いました。



本荘由利地区 林業職場体験学習

（インターンシップ研修）

八月三十一日（火）から九月二日（木）の三日間、由利工業高校、仁賀保高校の生徒七名が当組合への職場体験学習に参加しました。



研修では、業務の内容や注意点を学んだ後、実際の現場へ向かい、職員や技能班の指導の下、林業機械の操縦やチェーンソー、草刈り機の操作、またコンパスやGPSでの測量、立木の計測などを体験しました。

秋田県森林組合大会

11月18日（木）秋田市「秋田テルサ」を会場に第54回秋田県森林組合大会が開催されました。当組合から8名と1部門が受賞しました。

森林組合経営功労者【知事賞】

小松 佳和（代表理事組合長）

林業功労者【県森連会長賞】

土田 太一郎（元理事 矢島地区）

役員永年功労者（30年）【県森連会長賞】

堀川 悌二（理事）

職員永年勤続者（30年）【県森連会長賞】

岡部 由男（参事）

職員永年勤続者（20年）【県森連会長賞】

早道 忠徳（仁賀保支所係長）

岡本 真貴子（造林課係長）

優良作業班員【県森連会長賞】

小沼 定廣（林産）

佐藤 茂一（加工）

部門表彰 森林造成事業部門【県森連会長賞】

本荘由利森林組合

全国森林組合大会

10月26日（火）東京都「九段会館」で開催された第27回全国森林組合大会に小松組合長、佐藤矢島支所長が参加しました。議事の提案、決議の後、表彰が行われ、当組合から3名の受賞がありました。

議事

- （1）次期系統運動方針の策定
- （2）森林・林業再生プランに必要な予算の確保ならびに安定的財源としての環境税創設

功労者表彰

《組合職員》

早道 忠徳（勤続20年）

岡本 真貴子（勤続20年）

《作業班員》

相良 光洋（勤続13年）

地区組合員視察研修

8月から10月にかけて各地区で組合員視察研修が行われました。各地区とも約25名程の参加者があり、由利管内、秋田市、山形県で研修を行った地区もありました。各地区研修について次の様に報告いたします。

岩城地区

開催日 八月六日(金)
参加組合員 二十一名
岩見ダム公園(秋田市)
岩見山内国有林(複層林)
視察



本荘地区

開催日 九月十五日(水)
参加組合員 五十一名
仁別森林博物館(秋田市)
仁別国民の森
館内施設、林内・天然杉の
視察



仁賀保・東由利地区

開催日 九月十六日(木)
参加組合員 四十六名
(仁賀保 二十四名、
東由利 二十二名)
金浦甲府団地(提案型集約
施行地)
佐藤智信主任による説明
西由利原水源の森(広葉樹
植栽地)
三浦指導員による説明



大内地区

開催日 十月二十一日(木)
参加組合員二十三名
東由利(阿部重助氏所有林)
山遊庭の森
阿部氏より、スギ間伐方法
広葉樹の保育、林内でのき
のこ栽培の説明



由利地区

開催日 十月二十二日(金)
参加組合員 二十五名
秋田市太平自然の森
公園内視察(秋田市)



矢島地区

開催日 十月二十二日(金)
参加組合員 二十三名
矢島町新荘地区及び東由利
館合地区



鳥海地区

開催日 十月二十七日(水)
参加組合員 三十二名
山形県金山町 大美輪の杉林
山形県戸沢村 幻想の森



イヌワシの完全崩落巣の人工修復と繁殖結果

指導員 三浦光喜

最近の新聞テレビ等で生物多様性についての情報が飛び交っている。二〇一〇年十月三日(日)の魁新聞には、二ホンイヌワシの特別観察会の様子が載っていた。私も数年前に鳥獣保護に携わる機会があり、その時の実施記録を述べてみたい。

二ホンイヌワシは、日本に生育する最も大型の猛禽類の一種で、その分布域の森林生態系における食物連鎖の頂点に位置する種である。このような生物的地位を占めることから、イヌワシの生育密度は元来低いものであった。北半球に広く分布し、北部に生育するものは渡りを行うが、我が国のものは留鳥である。イヌワシは体長八十〜九十、翼開長一六八〜二二三センチメートル、体重は三〜四キログラムで、雌は雄より大きい性的二型を示す(日本鳥類保護連盟一九九五)

イヌワシは一九六五年国の天然記念物に指定され、旧環境庁のレッドデータブックでは絶滅危惧種に、そして「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の規定に基づく制令で「国内希少野生動物種」に指定されている。本種は、本州、四国及び九州(最近では北海道でも生育が確認されている)の開けた山岳地域に生育し、主なえさはノウサギ、ヤマドリやヘビ類である。

秋田県大仙市田沢湖には長年にわたるイヌワシが営巣・繁殖している。一九九五年九月、大仙市旧田沢湖町からこのイヌワシの巣が岩棚もろとも崩落したという連絡があった。岩棚は完全に崩落し、巣材は谷底に散在していたという。現地ではこの年、特に風雨の強い日が続き、岩壁全体の風化が相当進んでいる状況下で、集中豪雨により崩落した自然現象と判断された。

イヌワシの営巣に直接関係する生育調査の際に設置していた「イヌワシ生育調査検討委員会」のメンバーら五名と過去にイヌワシの巣の修復に経験のある岩手県立博物館の主任専門学芸調査員を加えた六名に現地調査及び巣の修復等の検討を依頼した。

イヌワシの岩壁巣の人為的補修成功例として山田(一九八六)、田村(一九九一)山本(一九九一)の報告がある。以上の例から非繁殖期に人為的に補修してもイヌワシは繁殖を続けることが推察できる。

調査結果及び保護対策について、検討委員会の現地調査をふまえて種々検討した結果、次の四項目に集約することとした。(一)絶滅のおそれのある希少種であり、今日的状況下では人手をかけて巣を補修し、保護する段階であり、何らかの対策を打ち出すべきである。(二)保護対策の方法としては、次の三段階で対応する。イ・イヌワシの巣の修復の経験がある登山家等に岩壁の安定性等応急処置の可能性について診断を依頼する。検討委員会が危険

と判断すれば実施しない。ロ・巣の応急処置の実施を巣に要望する。ハ・恒久的な巣の整備の実施を環境庁に要望していく。(三)当該巣の応急処置の実施にあたっては、高度差があることから安全性を最優先させる。

以上の意見を踏まえ、一九九五年九月二十三日に秋田県山岳連盟会員及び岩手県立博物館主任専門学芸調査員等により岩壁の安定性及び巣の修復の可能性について現地調査を実施したところ、次の結果が得られた。(一)基岩は安山岩系及び熔結凝灰岩と判断されるが岩壁の風化が進んでいる。(二)営巣地の修復及び作業員の安全確保は技術的には可能と判断されるが、あくまでも応急処置である。(三)長期的には、岩壁の風化の進行状況からこれ以上の修復は断念せざるを得ないと考えられる。

以上の結果から、旧田沢湖町に営巣するイヌワシの保護を図るため、イヌワシの巣崩落対策検討委員会を設置し、岩壁の調査を踏まえ、人工巣を作ることとした。

巣の修復工事は、高所及び危険な急峻な場所であることから安全第一として実施した。岩壁の堀り込みを行い、フックを打ち込んで広葉樹丸太(ミズナラ、アオダモを使用)を結束固定。巣材は下層部に広葉樹を使用し、井桁状に敷き詰め、土台に固定。中層部にも広葉樹を井桁状に巣の中心部に敷き詰め、枝を斜めに差し込んで固定。上層部は、小枝と葉を敷いて産座として

人工巣を完成させた。

イヌワシが人工巣に営巣するかどうかを確かめる為、地元の旧田沢湖町職員で、長年当該巣を観察し続けている人にも観察を依頼した。

十一月、上空を飛翔する一羽と巣内にいる一羽を確認。この時点で巣づくりに中であることを確信した。その後、巣内に入る二羽や、巣内の体毛を確認。一月に鳴き声を、巣から飛び去る姿を確認。二月には抱卵を確認し、確実にイヌワシが人工巣を利用して営巣していることを確認した。三月、巣内に二羽の雛を確認。五月には親鳥が一羽のヒナに給餌している状況を確認。この間にヒナが一羽になったと思われる。六月には巣内を動き回るヒナを確認し、その翌日にはヒナの巣立ちを確認した。以上が現場の責任者として、イヌワシの人工修復営巣りに携わり、イヌワシがこれを利用して営巣し、繁殖に成功するまでの課程である。



写真提供 秋田市大森山動物園

木材市況情報 (平成22年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m³当り価格

樹種	材長 m	径級 cm	9月3日			10月4日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	16~22	(2,840) 10,226	(2,452) 8,830	(2,671) 9,617	(2,811) 10,122	(2,593) 9,335	(2,732) 9,836
		24~34	(3,636) 13,090	(3,182) 11,458	(3,296) 12,226	(3,702) 13,330	(3,151) 11,347	(3,432) 12,358
出材量・販売量・販売率			829m ³ (2,984石)・617m ³ (2,221石)・74%			662m ³ (2,383石)・605m ³ (2,178石)・91%		

概況

9月：36cm上は全く引き合いなし。それ以外は完売。24cm～34cmは製品市況と関係なく原木不足感がある。
10月：36cm上を除いて完売。単価はやや強含みで、24cm～34cm良材には好値がついた。



十一月一日由利本荘市広域行政センター学習ホールで行われた米まつり褒賞授与式で、農産品部門（きのこ類）優等賞（賞状、記念品）を本荘由利森林組合から表彰授与しました。



十月三十日・三十一日に開催された由利本荘市米まつりに当組合から購買品、苗木等販売コーナーを出店しました。

第六回由利本荘市米まつり



九月二十五日、二十六日に兵庫県加古川市で行われた「全国市町村交流レガッタ加古川大会」へ成年男子の部で森林組合チームが由利本荘市代表として参加しました。チームは昨年度行われた由利本荘市代表を決める大会で優勝し、代表に選ばれました。
職員、技能班の計九名によるチームは、全国から勝ち抜いてきた強豪と接戦の結果全国五位の成績を収めました。

全国市町村交流レガッタ大会

森林組合だより 平成二十二年十一月二十五日発行 印刷・(株)由利印刷

今後の行事予定

- 林業相談日 …… 十二月十日
- 林業相談日 …… 十二月二十二日
- 造林コンクール表彰式及び林業講演会 …… 二月下旬
- 役員選挙（任期満了） …… 二月下旬～三月上旬

お知らせ

十二月十日は山神祭の為、午後から各事務所は留守になります。

優秀運転事業所 金賞受賞



自動車安全運転センターより交通安全の防止に抜群の貢献をしたとして、昨年度に続き、優秀安全運転事業所として金賞を受賞しました。